

個人賛助会員申込み書

私は、NPO法人ほのぼの研究所の趣旨に賛同し、ほのぼの研究所賛助会員に申込みます。

年 月 日

| | |
|--------|---------------------------|
| お名前 | |
| ふりがな | |
| ご住所 | 〒 |
| 電話 | |
| E-MAIL | |
| 年会費 | 3,000円 ※その他ご寄付も歓迎いたします |

お預かりした個人情報は厳重に管理し、当所からのご連絡にのみ使用させていただきます。

- ・個人賛助会員ご入会ご希望の方は上記項目ご記入の上、郵送・メールにてお申込み下さい。
- ・法人賛助会員の特典・口数・お申込みについては別途、ご相談

【お問い合わせ・お申込み先】

〒277-0005 柏市柏1丁目7番1-301

Day・Oneタワー3階(パレット柏)

NPO法人ほのぼの研究所事務局

E-Mail:frioffice@fonobono.org

賛助会員の募集

賛助会員制度は、当研究所開所とともに発足いたしました。当研究所の趣旨と活動をご理解、ご賛同いただき、賛助会員(個人・法人)として、事業活動にご支援をお願い申し上げます。あわせて、活動へのご参加をお待ち申し上げております。

賛助会員特典

(個人)

- 1.ほのぼの研究所主催の講演会・交流会、並びに会員向け講座・セミナー等催事のご案内を随時お送りします。
- 2.ニュースレター“ほの研通信”をお届けします。
- 3.以上の他、認知症の予防に関する最新の知識に触れる機会が得られます。

～左頁お申込み用紙をご利用下さい～

(法人)

個人会員特典に加えて、以下の特典があります。

- 1.法人の製品、サービスの評価を受けられます。
- 2.法人の従業員などが、当所主催もしくは法人と共催のセミナーを受講できます。
- 3.ほのぼの研究所の催事等を通して、法人の製品・サービス等の広報が可能になります。

年会費

個人会員 3,000円

法人会員 100,000円/口

認知症になりにくい生活を
実践・研究しています

ほ NPO法人
ほのぼの研究所



<http://fonobono.org/>

ほのぼの研究所とは

「防ぎうる認知症にならない社会」の実現を目指し、「共想法」の実践研究と普及を行っています。2007年に開所、2008年にNPO法人化しました。

その活動には、平均年齢70代の市民研究員と呼ばれるメンバーが携わり、20代から90代の個人と法人賛助会員にご参加いただいております。

主な活動地は柏市を中心とした千葉県東葛地域です。



事業の内容

- 「共想法」継続コース、柏市受託認知症予防講座等の実施
- 講演会開催、ニュースレターやブログでの情報発信
- 各地(茨城・埼玉・東京・大阪)での「共想法」実施運営のサポート
- 実施者養成研修、合同研修等、実施人材育成と相互学習の場の運営
- 「防ぎうる認知症にならない社会」を共に目指す自治体や企業との協働事業・研究、最先端技術の開発と評価

「共想法」とは

2006年、大武美保子(当時、東京大学助教授、2020年現在、理化学研究所チームリーダー)が、認知症の祖母との会話をヒントに考案しました。

共想法は、写真を見ながら「話す」「見る」「聴く」「考える」ことで、年を重ねると衰えやすい認知機能を鍛えます。参加者は、出題されるテーマに沿って写真を撮ってきて持ち寄ります。話し手の写真が順に映し出されると、時間内に話し、その後、周りの人からの質問や感想に答えて、自分の体験をより深く考えます。周りの人の撮影した写真を見て、話を聴き、ものの見方を広げます。

一連の作業を通して「体験記憶」、「注意分割機能」、「計画力」を総合的に使い、年を重ねると誰にでも起こりうる認知機能の低下を防ぎ、長持ちする脳の使い方を実践します。

共想法実施風景



共想法司会ロボット
ほのちゃん5号



柏市認知症予防講座

役員

理事

代表理事 大武美保子
理化学研究所



革新知能統合研究センター
認知行動支援技術チーム
チームリーダー

副代表理事

三宅 徳久
理化学研究所

革新知能統合研究センター
認知行動支援技術チーム
技術顧問

理事

小沼 宗心

元柏市医師会会長

浅間 一

東京大学大学院
工学系研究科教授

高木 利久

富山国際大学学長・教授
東京大学名誉教授

岩田 修一

事業構想大学院大学副学長・教授
東京大学名誉教授

監事

上橋 泉

柏市市議会議員
行政書士